

家庭学習の手引き

確かな学力定着のために

「よりよく生きるために勉強は大切だ。」「夢を実現するために、勉強がもっと分かるようになりたい。」子どもたちは、そんな願いをもって先生や仲間といっしょに一生懸命学習しています。しかし、「家庭学習のしかたがわからない。」「勉強しても、なかなか成果があがらない。」等の声が聞こえてきます。児童、生徒の皆さんが学習の意義を理解し、効率的に学習ができ、よりよき進路選択につながり、将来の社会人として「生きる力」をはぐくめることを願ってこの冊子を作りました。しっかり活用し、有意義な学校生活を送れるように努力してください。



少年老い易く学成り難し

一寸の光陰軽んずべからず

未だ覚めず池塘春草（ちとうしゅんそう）の夢

階前の梧葉（ごよう）已（すで）に秋声

唐津市立加唐小中学校

目次

1. なぜ勉強するのだろう	1
2. 早寝、早起き、朝ご飯	1
3. 家庭学習のツボ！ 7つのポイント	2
4. 学習計画を立てよう	3
5. 毎日の勉強のしかた	3～
【中学校版】		
・国語	4
・社会	5
・数学	6
・理科	7
・音楽	8
・美術	9
・保健体育	10
・技術	11
・家庭	12
・英語	13～14
6. やる気を育てる7つの関わり	裏表紙

1. なぜ勉強するのだろう？

- 勉強することで、知らないことが理解でき、学習が楽しくなる。
- 勉強することで、将来の選択肢が広がる。
- 勉強することで、自分の考えが持てるようになる。

・
・
・



2. 早寝、早起き、朝ごはん

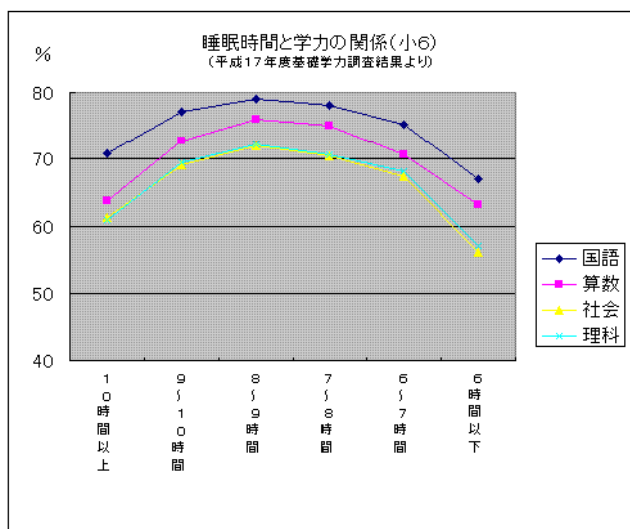
授業がわからない、学力がなかなか身につかないという人は、まずはこれからはじめてみましょう。パンと牛乳だけでもよいのです。

○すべての基本は、生活習慣

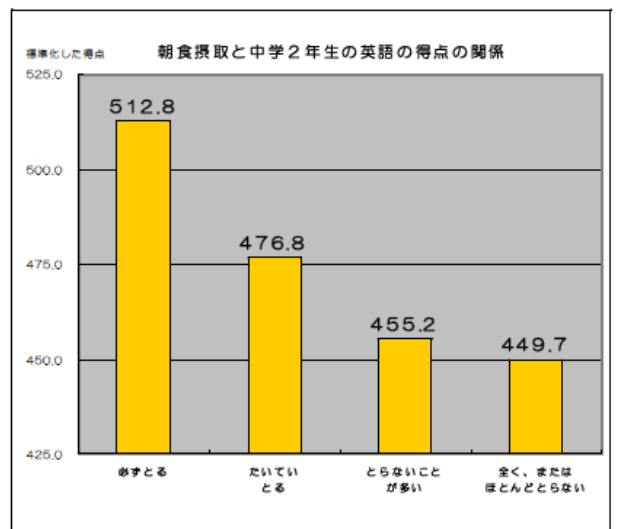
- ・朝食を食べると、学力が向上します。
- ・睡眠時間が7時間未満になると、集中力がなくなります。
- ・テレビやゲームの時間が短いほど、学力向上に役立ちます。



※早寝とは、テレビやゲーム等でだらだら起きていないで早く就寝しようという意味です。



鳥取県教育委員会資料より引用



平成15年度教育課程実施状況調査結果(文部科学省)より引用

3. 家庭学習のツボ！7つのポイント

- ①きまった時間に毎日こつこつやる。
- ②集中する。(テレビやおやつなど、「ながら勉強」をしない。)
- ③鉛筆を削り、用意をきちんとして始める。
- ④正しい姿勢できちんと机に座る。
- ⑤鉛筆は正しい持ち方で、ていねいに書く。
- ⑥わからないときは教科書を見たり、調べたりする。
- ⑦家の人にみてもらう。



学年	時間	場所	内容
小学1年	20分くらい	家の中で落ち着いた場所	読み・書き・計算 
2年	20～30分	いつも同じ場所	
3年	30～40分	大人の目が届く場所	
4年	40～50分		
5年	50分～1時間	家の中で落ち着いた場所	読み・書き・計算 自主勉強
6年	1時間以上		
中学1年	1～2時間		いつも同じ場所
2年	1.5～2.5時間		
3年	2～3時間		進路に向けて 3年間の総復習

※これは一応の目安です。ご家庭で話し合ってみてください。

4. 学習計画を立てよう

- 「〇〇時になったら、必ず机に向かう。」など、決めておくと家庭学習習慣もついてきます。
- 前のページの学年に合った時間や内容を見て、目標を立てましょう。

5. 毎日の勉強のしかた

- 各教科の学習のしかたをよく読んで、**自分にあった勉強方法**を見つけよう。

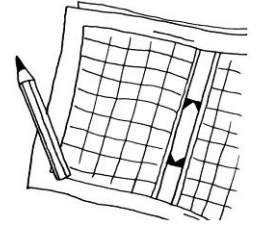
読書：国語の力をつける近道は読書です。

読書は楽しいものです。自分の好きな本から読んでみよう。つまらなかったら、途中で読むのをやめてもいいのです。自分の好きな本から読んでみよう。

「朝の読書」の時間も有効に使いましょう。



国語



1 教科書を音読しよう

～声に出して読むことはいろいろな器官を使い、脳を活性化してくれます～

- 文学的文章や説明的文章は…場面を決めて読もう。
- 詩、短歌、俳句、古典は…何度も繰り返して暗唱を目指そう。

2 その日のノートやワークシートを見直そう

○その日の内容はその日のうちに。分からなかった部分は先生や友達に聞いておこう。

3 漢字は、読んで書いて覚えよう。

○漢字は国語の基礎です。たくさん漢字に触れ、何度も書いて正確に覚えるようにしよう。

4 ワーク、プリント類を活用しよう。

○ワークやプリントはその日の学習の振り返りには最適です。学習したところをコツコツ解いておくことで、定期テスト対策にもなります。自主的に取り組もう。

5 プラスaとして…

- 読書は心の栄養。学習の合間の気分転換に、また、勉強に役立てるためにたくさん読もう。
- 新聞を読んでみよう。一面の下にあるコラムを毎日読むことで文章の書き方を自然と覚えられるし、語彙【ごい】力もつきます。
 - * 語彙…言葉 豊かな言葉を知っていると、作文などに役立ちます。

6 テスト前の勉強法は

- 教科書を何度も読もう。(本文の内容を確認！)
- 『漢字の学習』でテスト範囲の漢字を正しく書けるか確認しよう。
- 『国語の学習』で、テスト範囲の学習内容の総整理をしよう。



7 テスト後の勉強法は

○間違えたところはその日のうちに解き直そう。間違えたままにしておかないことが大切です。

社 会

1. 普段の学習

- ・授業前に教科書を読んでおきましょう。授業で頭に入りやすくなります。
- ・授業の後は簡単でいいですからふり返って内容を確認しておきましょう。

2. テスト勉強

- ・テスト前にプリントを配ります。解答も付けますが必ず提出してください。誤字などを訂正します。
- ・プリントの他に、「教科書を見直す」「ノートをチェックする」などいろいろな形で確認をして下さい。効果が上がります。
- ・必ず書いて覚えましょう。読むだけでは本当の力はつきません。読むだけの勉強より大変ですが苦勞した分、力になり後々まで頭に残ります。
- ・なんとなく覚えるのではなく「力を伸ばすのだ!」という意思をもって勉強しましょう。向上心があるのと無いのとでは同じ時間を使っても効果がちがいます。
- ・友達同士で問題を出し合って答えるのも刺激になって良いと思います。
- ・社会科の場合、今勉強している内容はそのまま高校入試に出るものです。1年生、2年生にとっても入試は遠いものではありません。ライバルは島の外にたくさんいます。早く自覺して下さい。

3. 各分野で注意すること

a. 地理

- ・地理では「場所」が大切です。地名を覚えるだけでなくそれがどこにあるのか確認しましょう。
- ・地図のほか地理ではグラフが重要です。写真資料もよく出題されます。語句を覚えるだけでなく、これらの資料にも注意しましょう。

b. 歴史

- ・歴史では「いつ」が大切です。まず旧石器時代から現代までの時代の名前と順序は正確に言えますか？語句だけ覚えても不十分です。「土偶は縄文時代」「天平文化は奈良時代」など、それぞれの時代も押さえておきましょう。
- ・歴史も資料を使った問題が多く出ます。年表や写真などにも注意しましょう。

c. 公民

- ・公民的分野は難しい語句が多く一見大変そうですが必ずしもそうではありません。その理由は..
- (1) 語句の意味さえ覚えればほぼOK。その意味もやさしいものがほとんどで地理や歴史のよりに「場所」とか「いつ」とかあまり気にする必要はありません。
 - (2) 覚えなければならぬ量が歴史などよりだいぶ少ない。

数 学

◇いつもやってほしいこと

1. 予習をしておこう

授業を受ける前に、教科書に目を通しておきましょう。全てを自分で理解する必要はありません。「**どういった内容を学習するのか**」、「**分からない部分がどこなのか**」というのを確認することが予習なのです。分からない部分は、特に集中して授業で理解すればいいのです。

2. 授業は集中して受けよう

予習でわからなかったところを中心に、集中して授業でしっかりと理解しましょう。**よく分からないところはそのままにせず、先生に質問をして授業中にしっかりと理解する**ようにしましょう。

また、黒板に書かれた内容をノートに写すだけでなく、先生のコメントや大切なポイントはメモするようにして、自分だけのオリジナルノートを作りましょう。

3. 復習を必ずしよう

授業があったその日のうちに、必ず復習をしましょう。数学が苦手な人は、特に復習に力を入れると効果があります。時間が経てば思い出すにも時間がかかります。その日のうちに短時間で復習をする習慣をつけましょう。「**ノートの見直し**」、「**授業中に間違えた問題を、もう一度解き直す**」これだけで、ぐんぐん力がつきます。

◇テスト前の学習の仕方

【定期テスト対策】

教科書は基礎・基本的な内容が中心です。授業中に間違えた問題や解けなかった問題を中心に見直しをしておきましょう。授業中に配られたプリントやワークなど、**ただ見るのではなく自分の力で解くこと**が大切です。反復練習こそが力になります。どれだけの問題を解くかが鍵となります。

【実力テスト対策】

簡単に解ける問題から、少し頑張らなければ解けない問題へとレベルアップしてみましょう。問題集を活用したり、過去問に挑戦したりするなど、多くの問題に取り組もう。

◇テストが終わった後にしてほしいこと

必ずやり直しをして、**間違えたところを確実にできるようにしておきましょう**。テストのやりっぱなしは全く意味がありません。一つ一つ丁寧にやり直そう。

音 楽

音楽科の目標

生活に音楽を生かし、生涯にわたって音楽を愛好できるように

- ・歌唱や器楽などの基礎的な技能や知識を身につけよう。
- ・美しい音や優れた演奏などに接して感動できる情感豊かな心を育てよう。
- ・日本の伝統音楽に対する理解を深め、諸外国の音楽文化を尊重する態度を育てよう。

授業中の学習の仕方

まずは

- ・学習用具の忘れ物がないようにしよう。
- ・学習の目標を確認し、達成できるように努力しよう

歌唱では

- ・音程やリズム、発声などに気をつけながら歌おう。
- ・歌詞の内容や曲想を生かして歌おう。
- ・合唱の時は、全体の響きを感じ取りながら歌おう。

器楽では

- ・楽器の基礎的な奏法を身につけて演奏しよう。
- ・曲想を感じ取りながら演奏しよう。
- ・合奏の時は、全体の響きを感じ取りながら演奏しよう。

創作では

- ・言葉や音階などの特徴を感じ取りながら旋律をつくろう。
- ・表現したいイメージを持ち、全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくろう。

鑑賞では

- ・音楽の構造と曲想を感じ取りながら鑑賞しよう。
- ・我が国や諸外国の音楽を文化・歴史と関連づけて鑑賞し、伝統音楽に対する理解を深めよう。

テスト前の家庭学習の仕方

- ・ワークシートの見直しをきちんとしよう。
- ・歌詞、記号の意味、リコーダーの運指は確実に覚えておこう。

※授業中に積極的に取り組むことにより、たくさんの力を身につけますので、テスト勉強がしやすくなります。

美術科

学習する意義

- 表現や鑑賞の活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わいます。
- 美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにします。
- 美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養います。

「こころ」を育てる教科です。「美しいものを美しいと感じる豊かな心」を育てていきましょう。

学習の心得

- 忘れ物がないようにしましょう。
- 制作に集中して取り組みましょう。
- 人まねではなく、自分自身のアイデアや発想を生かしましょう。
- 作品は大切に扱きましょう。
- 後片付けをきちんとしましょう。

家庭での美術

- 美術に関する新聞や雑誌の記事、またテレビ番組などを、時間があれば見てください。

保健・体育

なぜ保健体育の授業があるのか？

いつでも元気に体を動かすことができるのは、体の活動をささえる**体力**が備わっているからです。体力とは、心臓（しんぞう）、筋肉（きんにく）、神経（しんけい）などの体の総合（そうごう）的な能力で、人間にとって重要な能力であるといえます。

体力が高まると、カゼなどの病気にかかりにくくなり、かかっても治りやすくなります。また、肥満や運動不足からおこるいろいろな病気も**予防**します。さらに、ものごとに取り組むやる気、集中力、ねばり強さ、といった心の働きも高まります。

体力向上は、学習意欲にも関係しています。体力が無いと、学習意欲の低下や病気にかかりやすくなりやる気・集中力などが無くなります。だから、保健体育の授業があるのです。

また、中学生時期は特に持久力が高まります。

授業の中で大切にしたい学習の仕方

- ・服装を整える。（シャツ・髪型等）
- ・説明をよく聞く。
- ・苦手なこと、出来ないことにも挑戦する意欲を持って。
- ・ふざけていて、ケガすることは絶対にしない。
- ・みんなで協力して、準備・練習・片付けができること・



継続して取り組んでほしい学習の仕方

- ・どんな種目にもチャレンジ精神で取り組みましょう。
- ・体育の時間のなかでは、全力疾走の時間を作りましょう。
- ・自分から、楽しくやろうとする気持ちを大切にしましょう。
- ・大人になっても健康な生活ができるように、基本的なことをしっかりと身につけましょう。
- ・運動の前はウォーミングアップを大切にしましょう。

テスト前の学習の仕方



- ・保健体育の授業中に、説明したところを見直す。
- ・テスト範囲の保健体育の教科書等を必ず見直しておく。
- ・授業中に配布したプリントを見直す。



技術

1 技術分野で学ぶ意義について

- 技術分野では、次の2つのことに取り組みます。
 - ・現代社会において活用されている、いろいろな技術の基礎的・基本的な内容を、実践的・体験的な学習活動を通して身に付ける。
 - ・技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、将来の生活で学んだことを主体的に活用できる能力と態度を育てる。つまり、これからの社会の中で必要とされる生きる力の育成を目指すことを目標としています。

2 学習内容について

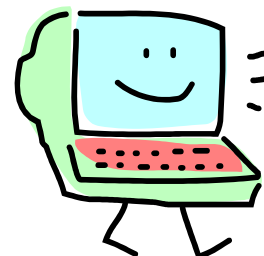
- 技術分野では、次の4つのことを学びます。
 - ・材料と加工に関する技術
 - ・エネルギー変換に関する技術
 - ・生物育成に関する技術
 - ・情報に関する技術



これらのことを3年間の授業で学んでいきます。

3 学習の仕方について

- 授業では、次のことに気を付けてください。
 - ・教科書、ノート、筆記用具は必ず持ってくる。
 - ・話をよく聞き、分からないことは遠慮せずに聞きます。
 - ・実習があるときは、体育時の服装（長袖、長ズボン）に着替えます。
 - ・実習の注意や指示は、手を休めてよく話を聞きます。
 - ・プリントはなくさないようにします。



4 家庭学習について

- 学習したことを家庭で実践することが大切です。そのために、次のことを実践してください。
 - ・授業で学んだことを見直す。
 - ・授業で学んだことを実践してみたり、他教科で学んだことを組み合わせたりして、生活の中で使えるものはないか考えてみる。
 - ・今の方法より簡単にできるようになることはないか、自分なりの新しい方法で実践してみる。

家庭科

1 授業で学習したことを日常生活に生かそう

～健康で自分らしく生きるために～

- 自分の生活を振り返ろう。(衣食住など)
- 自分の生活から、生活をよりよくする課題を見つけよう。
- 授業で習ったことを、家庭でも実践してみよう。家庭科は、実践してこそ身につきます。

食生活… 栄養バランスを見直そう。献立を考えて、調理をしてみよう。

衣生活… 洗濯や掃除を手伝おう。衣類を制作してみよう。

住まい… 掃除や騒音、明るさなど、快適で安全な住まいを工夫してみよう。

成長と家族…乳幼児の心身の成長、関わり方(接し方、おもちゃ、おやつ作り)を知ろう。

消費生活… いろいろな販売方法や支払い方法を知り、消費者の権利や責任を知る。

2 テスト前の学習法は

- 『家庭科ノート』やプリントを確認しよう。

授業で学習した範囲の教科書を見直しながら、家庭科ノートをまとめ覚えましょう。
特に、穴埋め問題は、要点の確認ですから、確実に解いて覚えておきましょう。

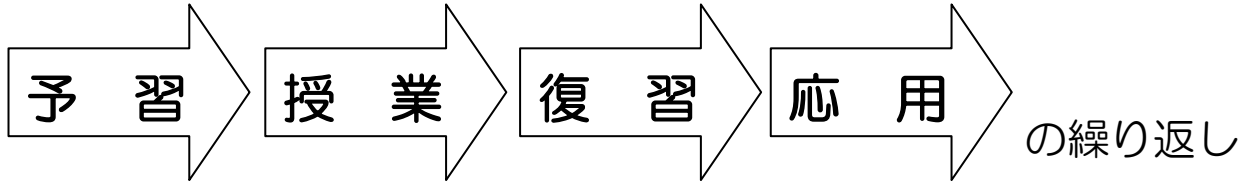


英語

I can do it! You can do it!
We can do it!



英語学習の基本4大原則：



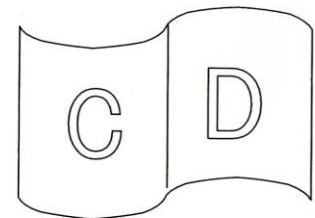
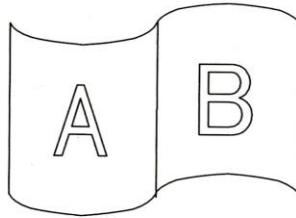
自分ではなかなか方法が見つかりにくいので、ここでとっておきのノートの使い方を紹介します。(授業で話している内容です。)

ノートの書き方

英語科：基礎学力向上のための取り組み

A, B, C, D の4ページを1サイクルとします。

- A・・・予習のページ ※左のページから始めるとよい
- B・・・授業用のページ
- C・・・復習のページ
- D・・・自由のページ



Start

A: 予習のページ → B: 授業用のページ → C: 復習のページ → D: 自由のページ

日付

単元名 Unit 1 Part 1

1. 新出単語の意味調べ
2. 新出語句・新出文型の文を書く
3. 本文を書き写す
英語の文章とその日本語訳
まで

日付

単元名 Unit 1 Part 1

1. 文法事項を書く
2. 重要文を書く
3. 練習問題をやる

など

日付

単元名 Unit 1 Part 1

1. 重要文の練習
2. 単語の練習
3. 本文を覚えて書き写す

など

日付

◎ 自分のつまづきを補充

1. Unit を問はずどこでもよい
2. 文法的な要点をまとめる
3. 自分で英作文を試みる
4. 練習問題をしてみる

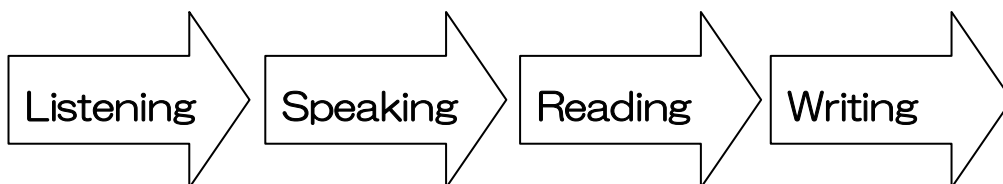
など

この方法は、ノート1冊でサイクルを組みながら、予習～応用までできるので、継続性も身に付き、たいへん効果的です。

しかし、もちろん、それだけではまだまだ！そこで、外国語として英語を学ぶことを基本に考えると…



英語能力の基本4大領域：



の力を身につけるために

① 授業中*予習をしてることが大前提*

- 1) まずは、しっかり話（発音）を聞こう！（耳からの情報を大切に！）
- 2) 次に、大きな声で発音しよう！（恥ずかしがらずに繰り返そう！）
- 3) 大事なポイントをしっかりおさえよう！（進出の単語、文法事項など）
- 4) できるだけたくさん英語を使ってみよう！（まずは、教科書やプリントに出てきた表現をそのまま使い、つぎにそれを使って自分で表現してみよう！）
- 5) 家に帰って自分が復習をしなければいけないこと！（その日に習った表現をしっかり確認して授業を終わろう！）

② 宿題の提出*必ずすること*

- 1) 学校で出された宿題（ワーク、プリント、単語スキル、Writing note など）は何としてでもその日のうちに出すこと！

③ 家庭学習*ここがプラスαの分かれ道*

- 1) まずは、宿題も大事な家庭学習の1つ！確実に終わらせたら…
- 2) 本文やキーセンテンスなど、学校で習った表現を覚えるまで読もう！
- 3) 次に、「ノート使い方」で紹介した復習や応用のページを利用して、単語や英文を何回も書きましょう。だいたい20回くらい書くと覚えられます。
- 4) まとめとして、ワークをしたり、問題集に取り組んでみよう！
- 5) 自分で“自学ノート”を作り、先生に提出するのもいいですね！



④ さまざまな英語に触れる*メディアの利用*

- 1) テレビやラジオ番組を見たり聞いたりしてみると、学校では習わない表現が身に付きます。
- 2) 英語の歌に興味を持って、歌詞を覚えて歌うこともお勧め！意外と発音がきれいになります。
- 3) 英語で映画を見てみよう！まずは、字幕スーパーから初めて、ついには英語のみで見てみると、聞く力や話す力が身に付きます。
- 4) 英語検定に挑戦しよう！5級から1級まで、自分のレベルに合わせて、年3回チャレンジすることができます。申し込みは、書店や学校の先生に尋ねるといいですよ！
- 5) ALTの先生にたくさん話しかけて、外国の文化との違いも新しい発見になりますよ！

以上、英語は聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4つの領域があります。目、耳、口、手はもちろん、ジェスチャーなどを含めて、しっかり体を使って学びましょう。楽しんで使うことが一番の上達法。たくさん聞いて、読んで、話して、書きましょう！！！！

6. やる気を育てる7つの関わり

1. 大きくほめよう 小さな成長

2. 朝食で 体も頭も 元気にスタート

3. テレビより 家庭の対話

スイッチオン!

4. 太陽の リズムに合った 一日の生活

5. 「〇〇しなさい」で動く子より

自分で考え 行動する子へ

6. 「ありがとう」の言葉で

心のキャッチボール

7. 努力する親の姿が 子どもの鏡